

特に優れた業績の評価項目一覧

業績の項目	大学の内外区分	該当評価項目	提出するもの（注意事項含む）	評価項目番号
(1) 学位論文その他の研究論文	A	① 学位論文が特に優れている。	修士論文及び博士論文の概要（要旨等）※年度途中修了者及び3月修了予定者は全員提出すること	(1) A①
		② 独立行政法人日本学術振興会及び民間財団が公募している競争的資金の獲得がある。	獲得が決定したことがわかる資料	(1) A②
		③ 北海道大学えるむ賞など学内での賞の受賞がある。	受賞した賞状の写し、受賞が決定した旨の通知文書やメール等	(1) A③
		④ その他各研究科で認められた業績がある。	業績の内容を証明するもの	(1) A④
	B	① 留学先での学位論文が特に優れている。	内容を証明するもの	(1) B①
		② 学会誌又は学術雑誌への論文掲載がある。	論文毎に資料の見出しを付けること。また、自分の名前の部分にマーカーチェックを記すこと。筆頭著者でなくても構わない。国際学会のプロシーディング、大学の紀要、学会の研究報告、条件付き採録の論文は不可。	(1) B②
		③ 学会賞又は学術賞の受賞がある。	国内会議、支部会議を問わない。ただし、筆頭著者で実際に発表したもののみの可。受賞した賞状の写し、受賞が決定した旨の通知文書やメール等。	(1) B③
		④ 学会等での発表がある。	国内会議、支部会議を問わない。ただし、筆頭著者で実際に発表したもののみの可。学会発表毎に資料の見出しを付けて、いつどの学会で発表したかわかる資料（プログラム等）及び発表した内容（論文）。自分の名前の部分にマーカーチェックを記すこと。	(1) B④
		⑤ その他各研究科で認められた業績がある。	業績の内容を証明するもの	(1) B⑤
(2) 北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第3号）第22条第1項に規定する修士論文に代わる特定の課題についての研究の成果	A	修士論文に代わる特定の課題についての研究の成果がある。	環境科学院では非該当	(2) A
	B	修士論文に代わる特定の課題についての研究の成果がある。		(2) B
(3) 北海道大学大学院通則（昭和29年海大達第3号）第22条第2項に規定する博士論文研究基礎力審査	A	博士論文研究基礎力審査に合格した。		(3) A
	B	博士論文研究基礎力審査に合格した。		(3) B
(4) 著書、データベース、その他の著作物（前2号に掲げるものを除く。）	A	著書、データベース、その他の著作物がある。	著作物名、出版社、執筆者名の記載されたページと執筆を担当したページ。自分の名前の部分にマーカーチェックを記すこと。	(4) A
	B	著書、データベース、その他の著作物がある。	著作物名、出版社、執筆者名の記載されたページと執筆を担当したページ。自分の名前の部分にマーカーチェックを記すこと。	(4) B
(5) 発明	A	発明がある。	内容を証明するもの	(5) A
	B	発明がある。	内容を証明するもの	(5) B
(6) 授業科目の成績及び修業年限の短縮	A	① 専攻内での成績が上位4分の1以内である。	事務で確認するので提出不要。	(6) A①
		② 修得科目の成績がすべて「優」以上である。	事務で確認するので提出不要。	(6) A②
		③ 北海道大学大学院通則第22条第1項ただし書第2項若しくは第3項ただし書又は第4項ただし書又は第23条ただし書に規定する修業年限の短縮を認められた。	事務で確認するので提出不要。	(6) A③
(7) 研究又は教育に係る補助業務の実績	A	① リサーチ・アシスタント等による研究活動への貢献が顕著である。	発令通知書の写し	(7) A①
		② ティーチング・アシスタント等による教育活動への貢献が顕著である。	発令通知書の写し	(7) A②
		③ 科学研究費補助金等による研究活動への貢献がある。	貢献を示す文書。科学研究費等で旅費が支給されている場合は旅行命令書の写し。	(7) A③
	B	① リサーチ・アシスタント等への採用がある。	発令通知書の写し	(7) B①
		② 科学研究費補助金等による研究活動への貢献がある。	貢献を示す文書。	(7) B②
		③ 非常勤講師等、教育活動への貢献がある。	非常勤講師等発令通知書	(7) B③
(8) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	B	教育研究活動の成果として、音楽、演劇、美術その他芸術の発表会で優秀な成績を修めた。	環境科学院では非該当	(8) B
(9) スポーツの競技会における成績	B	教育研究活動の成果として、専攻分野での国内外におけるスポーツの競技会で顕著な成績を修めた。		(9) B
(10) ボランティア活動その他の社会貢献活動	A	教育研究活動に関するボランティア活動が顕著である。	自身の研究と関連しないものは不可。指導教員等本人以外の第三者が証明又は評価した書類（ただし活動内容（いつどこでどのような活動をしたか）及び本人の氏名が確認できること）。	(10) A
	B	専攻分野の特殊性を生かした顕著な社会貢献、国際貢献がある。	学外で自身の研究と関連した貢献がある場合に提出可。主催者等本人以外の第三者が証明又は評価した書類（ただし活動内容（いつどこでどのような活動をしたか）及び本人の氏名が確認できること）。	(10) B
備考 大学の内外区分欄中「A」とあるのは大学院における教育研究活動等に関する業績を、「B」とあるのは専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績を表す。				